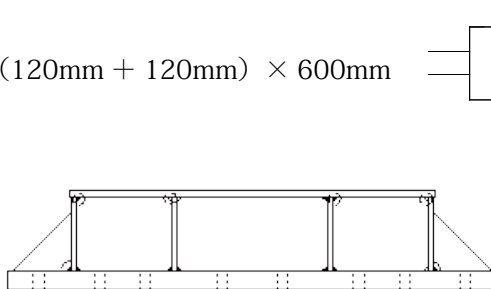
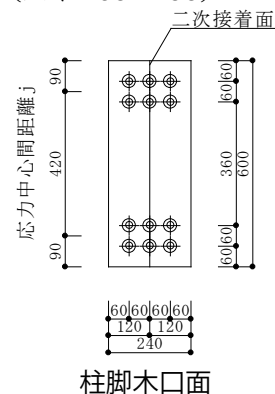


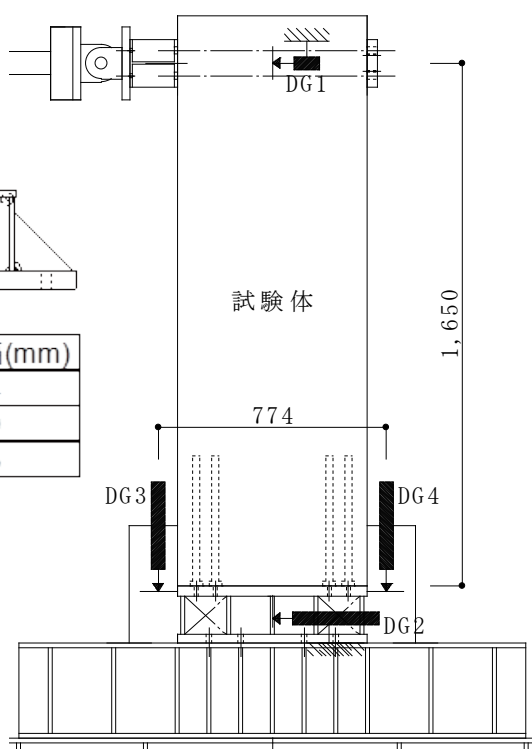
● 姿図・寸法

【使用材料】

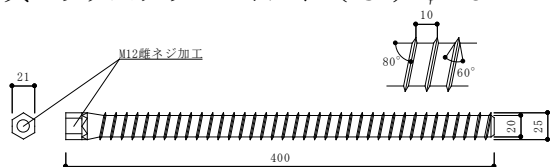
柱 1800mm × 240mm (120mm + 120mm) × 600mm  
(スギ E65-F255)



試験体	t厚さ(mm)	a:リブ間隔(mm)
1体目	12	124
2体目	12	200
3体目	12	165



接合具 ラグスクリーボルト (LSB) φ 25



● 適用条件

- モーメント抵抗接合部として用いる。
- 引き抜き抵抗用として用いる。
- せん断抵抗に関して、本実験以上のせん断力を作用させる場合には別途検討が必要。
- 本接合部では柱脚金物のベースプレートの降伏により靱性を確保した。

● 概要

柱脚に埋め込まれた LSB の引き抜き抵抗によりモーメントに抵抗する。LSB は端部に M12 の雌ネジ加工が施してあり、ボルトで金物と緊結する。構造物の破壊性状として、木材端部の割裂による脆性破壊を避けるため、十分な断面、縁距離を確保する必要がある。

● 接合具 (メーカー、入手方法等)

LSB (カネシン)

● 問い合わせ先 URL

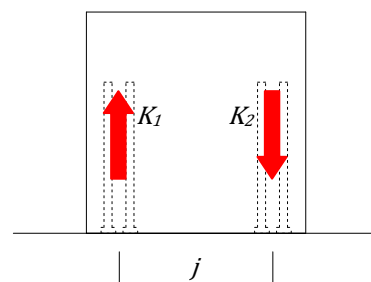
<http://www.kaneshin.co.jp>

接合具データは、接合具 / ラグスクリーボルト (LSB) を参照。

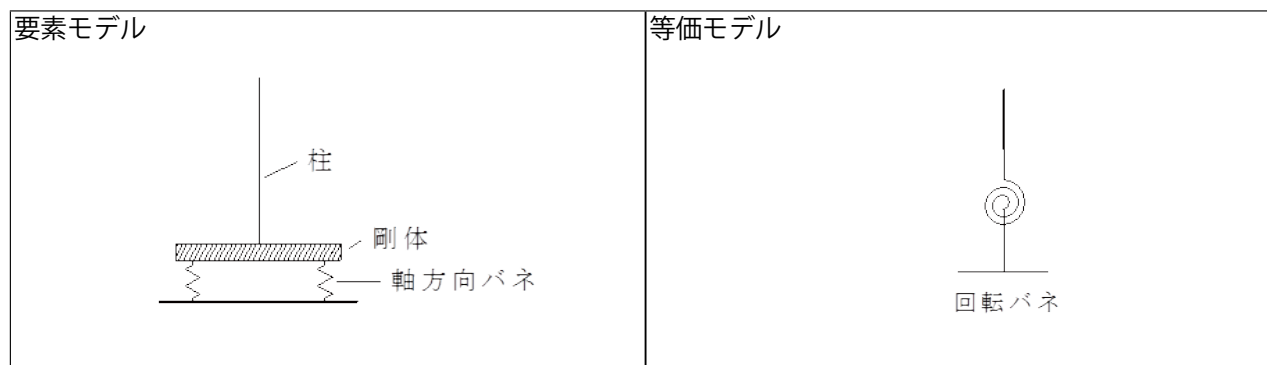
● 理論式

圧縮側の LSB バネ  $K_1$  と引張側の LSB バネ  $K_2$  と応力中心間距離  $j$  により、図のようなモデルで剛性、耐力を算定できる。

弾性域 剛性  $K = (K_1 + K_2) (j/2)^2$   
 $M = (T + C) / 2 \times j, Q = M/h$



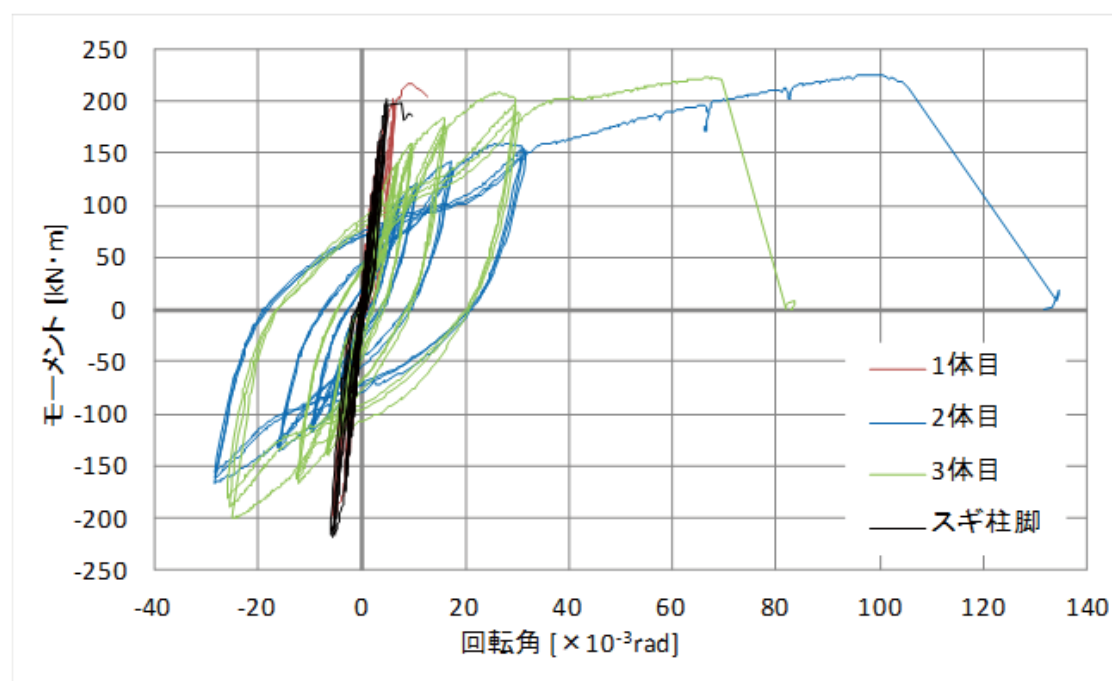
## ●モデル化



## ●特性値

	1体目	2体目	3体目	Ave.
最大耐力 Pmax[kN]	131.3	136.6	134.5	1341
最大モーメント Mmax[kNm]	216.6	225.4	221.9	221.3
初期剛性 K[kNm/rad.]	4841	9628	2389	5619

## ●モーメント回転角



## ●破壊性状

- ・1体目  
1/50rad引で引張側（反ACT側）ボルト1本の破断、LSB5本の引抜け
- ・2体目  
1/10rad引で引張側（反ACT側）ボルト2本の破断、LSB4本の引抜け
- ・3体目  
1/14rad引で引張側（反ACT側）ボルト2本の破断、LSB1本の引抜け